

# 特別会計予算の概要

予算額 3,713億円 (前年度比2.1%増)

## 土地区画整理会計

予算額 4 億円

- 篠路駅東口土地区画整理事業の着手により、前年度比 32.5%の増となります。

## 駐車場会計

予算額 2 億円

- 減債基金積立の増等により、前年度比 16.2%の増となります。

## 母子父子寡婦福祉資金貸付会計

予算額 2 億円

- 公債償還費の増により、前年度比 17.9%の増となります。

## 国民健康保険会計

予算額 1,838億円

- 被保険者数の減により、前年度比 0.8%の減となります。
- 一般会計から、財政基盤の強化を目的とした法定の繰入金148億円など、総額203億円の繰入を受けます。

## 後期高齢者医療会計

予算額 277億円

- 後期高齢者被保険者数の増に伴う北海道後期高齢者医療広域連合負担金の増等により、前年度比 4.9%の増となります。
- 一般会計から、財政基盤の強化を目的とした法定の繰入金53億円など、総額66億円の繰入を受けます。

## 介護保険会計

予算額 1,568億円

- 介護報酬改定やサービス利用者の増加に伴う保険給付費の増等により、前年度比 5.1%の増となります。
- 一般会計から、保険給付に係る費用の市町村負担分など、総額256億円の繰入を受けます。

## 基金会計

予算額 23億円

- 財産貸付収入の増等により、前年度比 2.9%の増となります。

# 企業会計予算の概要 予算額 2,701億円 (前年度比1.7%増)

## 病院事業会計

予算額 291億円  
(前年度比5.6%増)

### 安全で質の高い医療の提供

安全で質の高い医療を提供するため、高度医療機器の更新・整備を行います。

また、経年劣化に伴う施設の改修を計画的に進めます。

### 経営健全化に向けた取組

市立札幌病院としての役割を果たすため、新入院患者の受入強化や、委託費などの経費削減に取組み、将来にわたって持続可能な経営基盤を確立し、より健全かつ効率的な病院経営を目指します。

収益的収入 254億円  
収益的支出 253億円  
差引 1億円  
未処理欠損金 89億円

## 中央卸売市場事業会計

予算額 41億円  
(前年度比2.8%減)

### 安全で安心な生鮮食料品の供給

安全で安心な生鮮食料品の安定供給を堅持していくとともに、中央拠点市場としての機能強化のため、老朽化した場内の設備機器類の更新を行います。

### 健全経営に向けた取組

今後とも、老朽化施設の更新など、経費の増加が見込まれる厳しい経営環境の中で、健全な事業運営を継続するため、計画的・効率的な事業執行により、引き続き、より一層のコスト削減に努めます。

収益的収入 21.7億円  
収益的支出 23.4億円  
差引 ▲ 1.7億円  
未処理欠損金 47億円

## 軌道整備事業会計

予算額 27億円  
(前年度比35.3%減)

上下分離  
導入により  
名称変更

### 安全の確保

安全運行の確保のため、計画的な軌道施設の更新を進めます。

### 快適なお客さまサービスの提供

街路拡幅事業に合わせて、レールの制振軌道化など既設線の再整備を進めます。

### まちづくりへの貢献

電力設備の増強や車両基地の改良を進めるとともに、低床車両の製造等を進め、全ての人が利用しやすい路面電車を目指します。

収益的収入 16.2億円  
収益的支出 16.3億円  
差引 ▲ 0.1億円  
未処理欠損金 6.3億円

## 高速電車事業会計

予算額 811億円  
(前年度比2.9%増)

### 安全の確保

老朽化した施設の改修として、各駅のエレベーター・エスカレーターの更新等を進めます。

また、防災対策として、南北線高架駅の耐震改修工事、南北線シェルター耐震改修工事を進めます。

### 快適なお客さまサービスの提供

お客さまの利便性向上のため、一般旅客用トイレの洋式化や温水洗浄便座の設置等の改良を行います。

### まちづくりへの貢献

札幌市を訪れる多くの外国人旅行者客に対応するため、施設や車両の案内表示等を多言語表記に改修します。

収益的収入	529億円
収益的支出	429億円
差引	100億円
未処理欠損金	2,024億円

## 水道事業会計

予算額 631億円  
(前年度比1.3%増)

### 安全で安定した水道水の供給

安全で安定した水道水をお届けするため、経年劣化した施設や配水管の更新などを計画的に行います。

また、災害対策として、浄水場などの施設や配水幹線、災害時重要施設〔医療機関、指定避難所（基幹）〕へ向かう配水管の耐震化などの事業を進めます。

### 健全経営の維持に向けた取組

経年劣化した施設等の更新のほか、災害に備えた耐震化事業の推進などにより、今後も建設改良に係る経費は高い水準で推移することが見込まれることから、健全経営の維持に向け、必要な財源の確保に努めながら、施設規模の見直しや延命化などの経費節減に取り組みます。

収益的収入	460億円
収益的支出	369億円
差引	91億円
未処理欠損金	なし

## 下水道事業会計

予算額 899億円  
(前年度比1.8%増)

### 安全で安心な市民生活の維持

下水道機能の維持向上のため、適切な維持管理と、今後急増する老朽施設の計画的な改築を進めます。

また、災害に強い下水道の実現のため、雨水拡充管の整備などの浸水対策や、下水道施設の耐震化を進めます。

### 環境に与える負荷の低減

水環境を保全するため、合流式下水道の改善を図ります。また、循環型社会への貢献のため、下水道エネルギーの有効利用を進めます。

### 健全で持続可能な経営

計画的かつ安定的に事業運営を進めるため、経営効率化や人材育成に取組み、健全で持続可能な経営に努めます。

収益的収入	523億円
収益的支出	504億円
差引	19億円
未処理欠損金	なし

**M E M O**

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....